

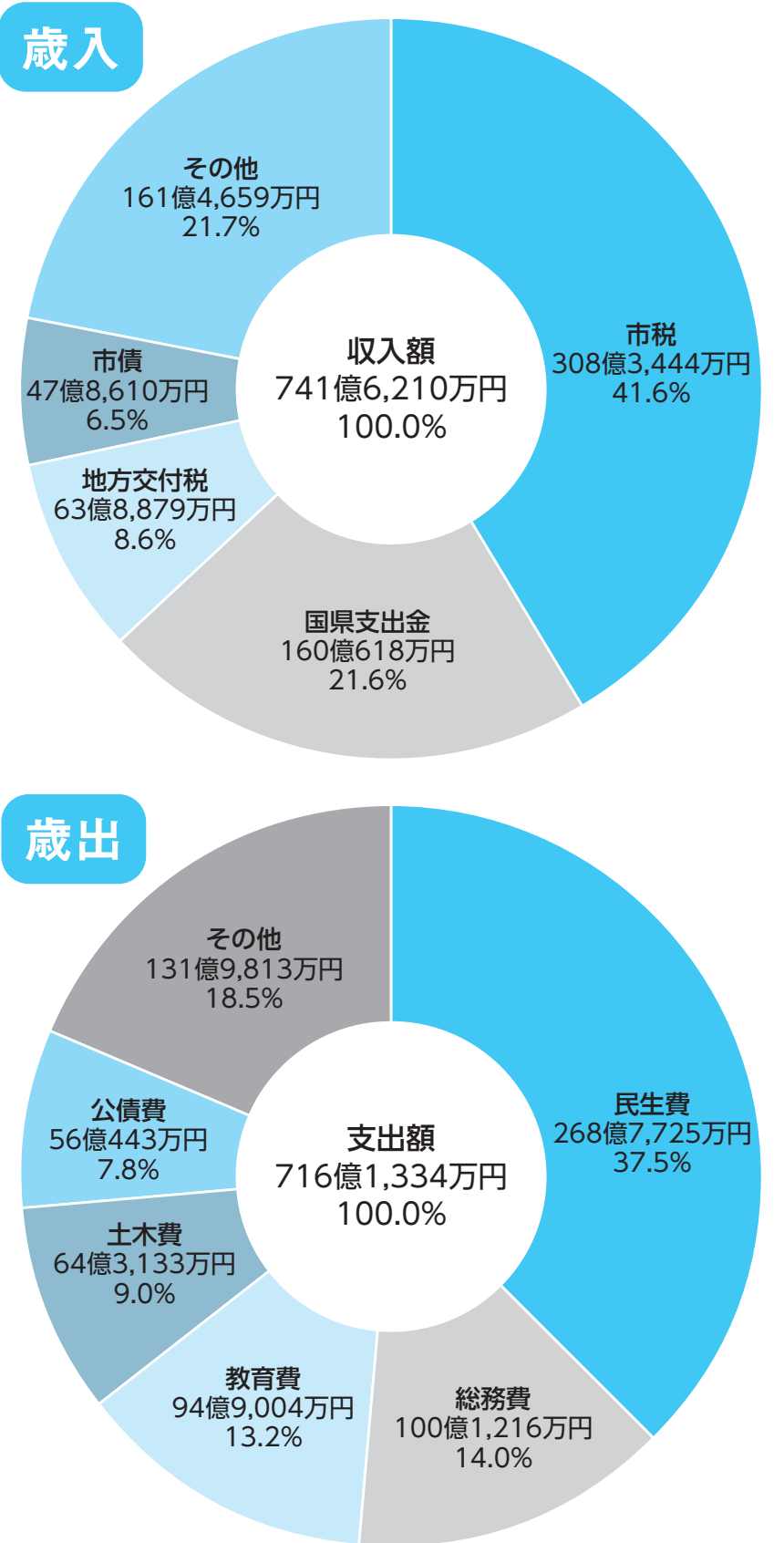
令和 7 年度 大垣市の決算

令和 7 年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算は次のとおりで、一般会計については、前年度と比較して、歳入が6.9%増、歳出が6.6%増となりました。

歳出については、近年の物価高騰、人件費や扶助費の増加による影響を受け増加していますが、そのなかでも、公共施設の長寿命化整備や、「共創の花開く年」をテーマに、「水都大垣の再生」「まちの拠点づくり」「子どもの居場所づくり」に関する事業に着実に取り組みました。

財政状況について詳しくは、市HPをご覧くださいか、財政課（☎47－8296）へ。

【一般会計】



【特別会計】

会 計 名	収 入 額	支 出 額
公共用地先行取得	2億5,049万円	2億5,049万円
国民健康保険	147億2,701万円	138億2,015万円
国民健康保険直営診療施設	2,937万円	2,937万円
後期高齢者医療	29億6,972万円	27億7,522万円
介護保険	174億5,471万円	150億1,130万円
公設地方卸売市場	1億3,098万円	1億3,098万円
駐車場	7,793万円	7,793万円
競輪	342億4,486万円	329億9,206万円
牧田財産区	901万円	745万円
一之瀬財産区	102万円	7万円
時財産区	323万円	119万円

【企業会計】

会 計 名	項 目	収 入 額	支 出 額
病院	収益的	363億8,052万円	377億3,985万円
	資本的	10億5,597万円	46億2,416万円
水道	収益的	23億2,591万円	19億2,766万円
	資本的	2,933万円	11億4,340万円
簡易水道	収益的	1億3,405万円	1億3,056万円
	資本的	3,892万円	9,676万円
公共下水道	収益的	38億9,659万円	37億9,316万円
	資本的	15億9,818万円	36億6,498万円
特定環境保全 公共下水道	収益的	2億1,306万円	2億1,288万円
	資本的	6,814万円	1億2,765万円
農業集落排水	収益的	6,324万円	6,324万円
	資本的	1,605万円	3,023万円

※収支差引がマイナスとなる場合は、繰越利益剰余金や留保資金などで賄われます。

【財政の健全化に関する比率】

自治体の財政の健全化を示す全国共通の指標である「健全化判断比率」「資金不足比率」を算出しました。

いずれの比率についても、①自主的な改善努力を図る財政健全化計画の策定が義務付けられる基準、②国などの関与による確実な再生を図る財政再生計画の策定が義務付けられる基準を下回っています。

区 分		説 明	大垣市	① 早期健全 化基準	② 財政再生 基準
健全化判断比率	実質赤字比率	市の一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示します	赤字はありません	11.47%	20.0%
	連結実質赤字比率	上記に、特別会計と企業会計を加えた市全体の財政運営の悪化の度合いを示します	赤字はありません	16.47%	30.0%
	実質公債費比率	地方債の償還金およびこれに準ずる費用の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示します	3.3%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	地方債現在高など将来の負担を指標化し、財政運営に与える負担の度合いを示します	43.7%	350.0%	
資金不足比率		公営企業の資金不足を事業規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示します	資金不足はありません	20.0%	